



## 大阪で学ぶ学生は今

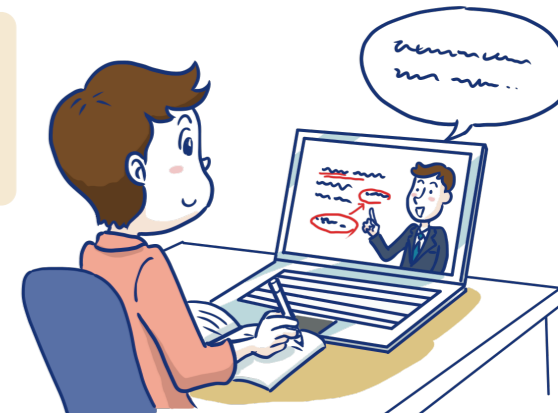
# 新型コロナウイルス感染症の拡大で、生活はどう変わった!?

## 私が感じたこと、考えたこと。

この春、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するための「緊急事態宣言」が発出され、私たちは1カ月以上もの間「外出の自粛」、「人との接触を8割削減する」、「三つの密を避ける」ことなどを求められてきました。この初めての経験について、大学生のみなさんにお話を聞いてみました。

今回お話を聞きした、関西大学の7名の学生の皆さん

- 社会学部 3回生 堀井 昭宏さん
- 社会学部 2回生 三島 彩香さん
- 文学部 2回生 田邊 爽佳さん
- 文学部 2回生 弓場 裕香さん
- 文学部 2回生 坪井 菜央さん
- 文学部 3回生 山下 桜花さん
- 社会学部 2回生 杉村 桜さん



### Q.1 大学では、通学できないことから 今期はオンライン授業が行われたとのことですが、 実際に体験してどんな感想をお持ちですか？

**堀井さん** 私は3年生ということもあって、ある程度ゆとりがあるので、1年生や2年生は普段に比べて課題量も多く1日中パソコンとらめっこしているようです。私が受けているオンライン授業も、対面に比べて課題が多い一方で、受け取れる情報の質はそこまで高くなく、少し不満と物足りなさを感じます。またゼミのような双方向のコミュニケーションが必要とされる科目は、**オンラインだと議論があまり盛り上がらない**という課題があるなと思いました。

**田邊さん** 最初はついていけるか不安だったんですが、慣れるのに時間はかかりませんでした。オンラインだと人の声をイヤホンから聞くのでしっかり聞き取れます。理解ができていない箇所を巻き戻してみることもできるので、**対面授業よりも定着力がある**なと感じています。一方で、ネット環境が安定しなくて、たまに画面や音声途切れてしまい、大切なところを聞き逃してしまわないか不安です。

**坪井さん** 私は講義型の授業がほとんどなので、普段の対面授業とほぼ変わらずという印象です。自分の部屋で静かに落ち着いて受けられますし、映像は何度も繰り返し見たりできるので**マイペースで勉強でき、むしろはかどっている**ような気がします。

**杉村さん** 不安を抱えたまま臨んだオンライン授業でしたが、次第にこの体制にも慣れてきました。むしろ今ではそれなりに楽しめている気さえます(笑)。ただ、対面講義でしか味わえない空気感があることも事実です。**友人とあーだこーだと話し合う機会が圧倒的に減ってしまった**こと、これが最大の欠点だと感じています。

**三島さん** 自分のペースで授業を受けられるため、対面授業よりも授業の理解が深まります。しかし、課題がたくさん出されて、**毎日何かに追われているような不安**を感じます。

**弓場さん** 最初は不慣れでわからないことも多かったのですが、慣れてくると通学時間が節約でき、休憩の時間も家で過ごせるので楽だなぁと思うようになりました。その反面通信環境によって全く聞こえなくなったり疑問点をすぐに質問しにくいこともあります。あとは**成績の決め方もまだはっきりとはわかっていないので不安**に感じます。

**山下さん** 授業によって**進め方が違うので、混乱してしまいます**。オンライン授業になったことによって課題が段階に増え、いつも課題に追われているような感じでした。

他にも皆さんからは、オンラインの便利さや不便さを感じ、実際に会うこととオンラインを上手に使い分けていたらというお話や、オンライン授業では、自分で資料を印刷する必要があるため、資料の印刷代がかさんでしまったというお話が聞かれました。また、オンラインの環境が整っていない人を気遣う発言も多く聞かれました。



### 「緊急事態宣言」の間中は、「オンライン授業」だけでなく 「オンライン飲み会」、「オンライン帰省」などという言葉が生まれましたが、 オンラインになじみのある皆さま方はどのように思われましたか？



**堀井さん** オンライン〇〇ですが、私としては「やらないよりはマシ」という印象が強いです。オンライン飲み会なども実施しましたが、やはり会話の盛り上がりなどは対面の方が圧倒的だなぁと思います。ただ、それでもそういう会話の場がないよりは良いですし、オンラインだからこそ**遠隔地にいても参加できるというメリットは確かにある**と思います。部活動でいえば、他キャンパスのメンバーとも交流がしやすくなったのは大きいです。

**田邊さん** 大学だと多くの方がパソコンやスマホを持っているのでオンライン授業を導入しやすいと思いますが、小・中・高は大学よりも、家庭によって**ネット環境の差が激しくてオンライン授業を行いにくいと考えられる**ので、教師も児童・生徒も保護者も学習に関する不安が大きいだらうなと感じます。会いたくても会えない状況で、逆に親や友だちと頻りに連絡を取るようになった気がします。メディアで「直接だと言にくいこともオンラインなら言える」、「実際の飲み会だと抜けにくいけど、オンラインなら抜けやすい」という社会人の意見が取り上げられていて、在宅勤務でオンラインだとこんなメリットもあるんだな、面白いなと思いました。

**坪井さん** 実際に会う時ほどの充実感はないけれど、家にいながら気軽に話せるというのは良いなと思います。特に離れたところに住む友達とちょっと話したい時なんかは、オンラインで会うというのはすごく便利です。早く実際に会えるようになりたいとは思いますが、**実際に会うこととオンラインで会うことはそれぞれ違うメリットがある**と思うので、コロナ禍が去っても、オンラインでのコミュニケーションは廃れないでほしいです。

**杉村さん** オンライン授業、オンライン飲み会、まではまだわかりませんが、オンライン帰省なるワードが飛び交い始めたときはさすがにゾットしました。**なんにでもオンラインをつけば解決されるわけではない**と思うので…。帰省したくてもできず、なんとか日々を耐え抜こうと必死だった自分にとってはなかなか受け入れ難いものでしたし、そういった言葉一つで片付けられてしまうことがとても悲しかったです。

**三島さん** 離れていても、友達と交流ができる環境に感謝したいです。もし、**インターネットが普及していなかったらと考えるととても恐ろしい**ですね…。

**弓場さん** オンライン飲み会ではないのですが課題をやるのに同じ授業の友達とオンラインで話した時は顔を合わせて話せるのって楽しいし気軽に話せるのもいいなと感じました。けれどオンライン飲み会などで終わり時がわからなかったり**家にいるから絶対参加みたいなことを聞くとそれは大変かな**とも感じました。

**山下さん** 全く会えないより、画面を通してでも友達やおじいちゃんおばあちゃんの顔が見られて、話ができるのはすごくいいと思います。技術が進歩してよかったなあって感じました(笑)。でも、**やっぱり会って目の前で話をするのがいちばん**です。早くそれができるようになってほしいなと思ってます。

